

平成26年度 8020運動推進特別事業(案)

【目的】 地域における8020運動に対する普及啓発を行うとともに、歯科保健の円滑な推進体制を整備すること。

【現状・課題】

- 1 本府では、8020運動推進特別事業を推進し、8020達成者率は33.3%(H24)に改善したが、全国平均(40.2%:H24)より低く、多くの府民が達成するには至っていない。
また、国は「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」において、**8020達成者の目標を50%以上**となるよう事業を展開していく必要があると方向性を示している。
- 2 歯の喪失予防を推進するためには、主な喪失原因となる歯周病の罹患状況のさらなる改善が必要。
**※40歳における歯周病有病率(H23)
大阪府(40.0%) 全国(24.3%)**
- 3 歯周病予防を推進するためには、青年期から早期発見・早期治療の意識を持つことが重要になる。高校までは学校保健安全法に基づき**歯科健診が実施されているが**、高校卒業後、40歳(歯周疾患 検診対象年齢)までは、歯科保健指導を受ける機会が少ない。
そのため、青年期では**歯科口腔保健に対する意識が高いとは言えず**、青年期における**歯科口腔保健の意識向上を図る必要がある**。
※青年期における歯周病予防は**従来**の事業でカバーされていない

【課題解決策】

大学・短大・専修学校における保健担当者を「**歯と口の健康サポーター**」として養成し、「**歯と口の健康サポーター**」が学校において、学生に対し**歯科口腔保健の重要性について意識づけを行うことにより**、学生の**歯科口腔保健の意識向上を図る**。

事業概要

青年期における歯と口の健康サポーター養成事業（5か年計画）

(1)歯と口の健康サポーター養成プログラム検討会【開催回数:4回】

歯と口の健康サポーター養成プログラムについて検討する。

【構成】 有識者、歯科医師、歯科衛生士、保健師、学校保健担当者

(2)歯と口の健康リーダー養成研修会【開催回数:1回】

歯と口の健康リーダーを育成する。

【構成】 地域歯科保健担当歯科医師

(3)歯と口の健康サポーター養成研修会の実施（平成26年度は試行実施）

【受講者】 大学・短大・専修学校における保健担当者

【内容】 ワークショップ形式の研修会により、青年期における**歯科口腔保健の重要性について認識を深める**。

歯と口の健康リーダーは、各学校保健担当者に**歯科口腔保健の重要性について、周知広報を行うとともに、担当者に歯科口腔保健についての動機づけを行いサポーター養成研修会(平成26年度or平成27年度)への参加を依頼する**。

H26～30年度の5年間で、府内の大学、短大、専修学校の保健担当者に**周知広報(1年間に約50校)**を行う。

青年期における歯と口の健康サポーター養成事業の流れ(案)

1 歯と口の健康サポーター養成プログラム検討会

【協議事項】

- (1) 歯と口の健康サポーター養成研修会資料
- (2) 歯と口の健康サポーター手引き
- (3) 学生に対する普及啓発用媒体

【検討会委員】

有識者、歯科医師、歯科衛生士、保健師、学校保健担当者

歯と口の健康リーダー養成研修会

※学校保健担当者に歯科口腔保健の重要性について、周知広報を行うとともに、担当者に歯科口腔保健についての動機づけを行い、サポーター養成研修会への参加を依頼する。

2 歯と口の健康サポーター養成研修会

【受講者】 大学・短大・専修学校における保健担当者

【内容】 ワークショップ形式の研修会により、
青年期における歯科口腔保健の重要性について認識を深める
※ワークショップ形式の研修会は、受け身の講義形式とは異なり、
参加者自らが意見交換することにより、問題意識を持つことが出来る。
また、意見交換することにより、青年期の歯科口腔保健に対する認識をより深めることができる。

【研修会講師】

歯と口の健康リーダー

歯と口の健康サポーター 学校へ

【大学・短大・専修学校】



歯と口の
健康サポーター

健康診断等において、学生に対し定期的な歯科健診の受診を促す等、歯科疾患予防の重要性について意識づけを行う

学生の歯科口腔保健に対する意識の向上を期待

事業終了後も「歯と口の健康サポーター」は
学校で歯科口腔保健活動を行うことが出来る

8020運動推進特別事業

青年期における歯と口の健康サポーター養成事業 (8020運動推進特別事業) 事業計画(案)

事業名	4～7月	8～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①歯と口の健康サポーター養成プログラム検討会	関係団体等における打ち合わせ	平成26年度8020運動推進特別事業 第1回検討評価委員会	(プログラム素案検討) 第1回委員会	(プログラム素案修正) 第2回委員会	(実施プログラム決定) 第3回委員会		(実施プログラム評価) 第4回委員会	平成26年度8020運動推進特別事業 第2回検討評価委員会
②歯と口の健康サポーター養成研修会の実施			(学校に対する周知広報について) 歯と口の健康リーダー養成研修会	学校に対する周知広報 (50校へ周知広報) (1)青年期における 歯科口腔保健の重要性について (2)サポーター養成研修会 (平成26年度or平成27年度)への参加を依頼する	歯と口の健康サポーター養成研修会(試行)			